

[抄録]

小児歯科における最新のトピックス ～う蝕予防から口腔機能発達不全まで～

福本 敏

東北大学大学院歯学研究科 小児発達歯科学分野

九州大学大学院歯学研究院 小児口腔医学分野

これまで小児歯科においては、う蝕の予防や治療、歯並び等に関する適切な咬合の管理が主な診療内容でしたが、近年の社会環境の変化により、小児における口腔内の状況が大きく変わってきました。成長発育に必要な栄養の偏りによると考えられる歯の形成異常や、食形態の変化による口腔機能の異常なども大きな問題となってきています。また医療の発達により、平均寿命も先進国の中で最も高い状況となってきた一方で、健康に過ごせる健康寿命が大きな課題となっております。これまで80歳で20本の歯を維持するための8020運動が推進されてきましたが、現在の子供たちが高齢者になった時の寿命を考えると、さらに高い目標を設定する必要があるように思われますし、今すぐにでも対応しなければ達成できない課題です。IT社会の中で様々な情報が簡単に取得できるようになってきましたが、それらの情報を正しく理解し取捨選択しながら、将来を見据えた小児歯科の役割を整理していく必要があります。そこで本セミナーでは、小児の口腔内における新たな問題の抽出と、その対応法について考察したいと思います。

[略歴]

1994年3月	長崎大学卒業
1994年4月	長崎大学歯学部 助手
1998年4月	日本学術振興会特別研究員 (DC1)
2000年3月	長崎大学大学院歯学研究科博士課程修了
2000年4月	長崎大学歯学部 助手
2000年10月	米国国立衛生研究所客員研究員
2003年4月	長崎大学病院 講師
2004年4月	九州大学大学院歯学研究院 助教授
2007年11月～現在	東北大学大学院歯学研究科 教授
2019年4月～現在	九州大学大学院歯学研究院 教授